

令和7年度 さつきそらのLMO 事業報告書

1 令和7年度の目標に対する事業実施の成果

・さつきそらのLMOのロゴマークの入ったPRグッズを配布することで、地域での認知度を高めることができた。
・拠点整備に必要な改修工事を行うことで、事務作業を効率よく行える環境を整えることができた。
・幅広い年齢層に利用されているデジタルツールを連絡手段として活用することにより、若手世代への伝達力や訴求力が向上した。

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	LMO設立記念セレモニー実施事業	(4) 事業中(1) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年8月9日	
(2) 実施場所	広島市五月が丘公民館	
(3) 参加者数	50人	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO	
4 取組内容	さつきそらのLMO設立に伴い、地域住民へ周知を図ることを目的に、多くの人が集まる五月が丘学区夏まつり実行委員会主催の夏まつり会場で記念式典を行う予定であったが、雨天のため夏まつりが中止になり、急遽公民館を借りて受領式を行った。 ・ 認定証の受領 ・ 記念品のうちわ配布(チラシ入り)	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	できるだけ多くの地域住民等へ新しい組織である「さつきそらのLMO」の周知を図る。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	さつきそらのLMOやその活動を認知してもらうことで、地域課題の情報や相談が集約されやすくなるなど、円滑な活動につながることを期待したが、一般の方の参加はわずかで、当初の目的を達成できなかった。しかし、さつきそらのLMOの構成委員にはインパクトのある受領式ができた。記念品のうちわを各団体に披露し、必要な場合は提供できることをアピールできた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	さつきそらのLMOのロゴイメージ募集事業	(4) 事業中(2) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年9月1日 ～ 令和8年3月1日	
(2) 実施場所	五月が丘学区内、さつきそらのLMO事務所	
(3) 参加者数	78人 (うち開所式の参加者50名)	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO	
4 取組内容	さつきそらのLMOのシンボルとなるロゴマークのデザインを五月が丘学区在住の児童・生徒対象に募集し、優秀作品を3月に開催したさつきそらのLMO事務所開所式で表彰した。 なお、ロゴマークを決定した後は、PRグッズを作成した。(別事業)。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	さつきそらのLMOのシンボルとなるロゴマークを作成し、活動に一体感を持たせる。また、地域と連携して作成することで、LMOの啓発につながる。	
(2) 効果(事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。)	ロゴマークを通じて、さつきそらのLMOやその活動に関心を持ってもらえた。また、活動に一体感が生まれ、地域課題の解決にまち全体で対応する意識が醸造できた。	

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	さつきそらのLMOのPRグッズ作成事業	(4) 事業中(3) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年10月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	さつきそらのLMO事務所	
(3) 参加者数	10人	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO	
4 取組内容	五月が丘学区在住の児童・生徒にデザインしてもらったロゴマークを使ったシールを作成した。「さつきそらのLMOのロゴイメージ募集事業」の募集の後、外部の識者に審査を依頼し、優秀作を決定し、それを基に作成を始めた。	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的 さつきそらのLMOやその活動内容を認知し、関心を持ってもらえるよう、活動時に使用するシールを作成し、PRをする。 (2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。） 事業を実施する際に、さつきそらのLMOが関わっていることが住民に見えることで活動への理解が深まるとともに、新たな協力団体の参画や担い手の確保への期待が高まった。		

2 ひろしまLMO運営助成金を活用した事業

1 事業名	さつきそらのLMOの広報・連絡手段の確立事業	(4) 事業中(4) 事業目
2 特定地域共同活動の分類	(14) (1)～(13)に掲げる活動の地域内外への情報の発信に資する活動	
3 実施期間等		
(1) 実施期間	令和7年7月1日 ～ 令和8年3月31日	
(2) 実施場所	さつきそらのLMO事務所	
(3) 参加者数	10人	
(4) 主催団体	さつきそらのLMO	
4 取組内容	住民の年齢、居住地などにかかわらず情報提供できるツールを検討し、早期に情報伝達網を整備する。検討にあたっては、予算、運用の利便性等を考慮した。 【インスタグラムの実施、さつきそらのLMO掲示板の実施など】	
5 目的・効果	(事業計画書に記載した目的・効果の内容を踏まえて記入してください。)	
(1) 目的	LMOの活動を広く周知するための広報・連絡手段を構築し、迅速で的確な情報提供を行う。その構築に当たっては、デジタルツール導入と利用者拡大に取り組むことにより、コミュニケーションの円滑化を図り、若手世代の地域参加を促す。	
(2) 効果（事業の実施により、地域課題の解決にどのような効果があったか。）	- 幅広い年齢層に利用されているデジタルツールを活用することにより、特に若手世代への伝達力や訴求力が向上した。 - 来年度は、デジタルツールの利用者を増やすことで、地域活動の盛り上がりや新たな担い手の確保につなげる。	

3 自主財源で実施した事業

年月日	事業名	特定地域共同活動の分類	実施内容
	特になし		